

## 実践・森づくり技術講座（第2回）

【タイトル】 実践・森づくり技術講座（第2回）

【開催日】 2020年9月19日（土）

【場所】 鳩ノ巣フィールド（奥多摩）

【主催者】 FIT 森林塾

【一文紹介】

森づくり技術講座の第2回は「ノコ・ナタの使い方、大ガマの使い方と下刈り」をテーマとし、道具の基本的な使い方の実習を行いました。

【公開記事】

朝から時折霧雨の降るあいにくの天気でしたが、フィールドに出て講座を行いました。第1回講座は、雨天のため座学を行ったため、受講生がフィールドに入るのは初めてです。服装、装備の装着など、一つずつ確認しながら準備を進めました。

また、技術講座は、個人の技術習得の場ですが、かつ、今後森林インストラクターとしてイベント参加者等へ指導ができるよう、作業しながら勉強する場であること、とのお話がありました。

ノコの講義と実習では、手鋸、大鋸を使つての玉切りを行いました。正しい姿勢と悪い姿勢、鋸を動かす速さ、ストロークなどを変えながら、一番効率良く切れるポイントを各自習得しました。続いて、ナタ講義と実習でも、持ち方や振り下ろし方、左手の木の持ち方などを確認しながら実習し、ほぼ全員が作製した杭に合格をいただきました。

午後からは、大鎌の講義の後、下刈りを行いました。遠心力を使って少しずつそぐように刈るのが基本ですが、厚く刈ったり、刈り残しがあったりと苦労しながらも、習得できたようです。

最後に、道具類の手入れを行い、講座を終了しました。刃物を扱うため、自分と周囲の人に対して安全に取り扱う必要があります。実習の各所で解説があり、受講者からは、厳しく指導していただき、安心して実習できる、との意見がありました。また、道具の扱いのポイントがよくわかり、実践の場で使いたいとの感想もありました。

【スタッフ】 講師 牧田、関、事務局 得能

【参加者】 受講生 5名

【報告者】 得能寿子

【報告写真 5枚】



① ノコの実習（玉切り）



② ナタの実習（杭作り）



③ ロープワーク



④ 大鎌の実習（下刈り）



⑤ 道具の手入れ